

Cisco Expressway シリーズ、Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS)、および Cisco TelePresence Conductor 他 API サービス拒否の脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20171018-expressway-tp-vcs	CVE-2017-12287
m	初公開日 : 2017-10-18 16:00	12287
	最終更新日 : 2017-10-30 19:00	
	バージョン 1.1 : Final	
	CVSSスコア : 4.3	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCvg44278	
	CSCve77571	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Expressway シリーズ ソフトウェア、Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) ソフトウェアおよび Cisco TelePresence Conductor ソフトウェアのクラスタ データベース (CDB) 管理 コンポーネントの脆弱性は一時サービス拒否 (DoS) 状態に終って、予想に反して再起動するために影響を受けたシステムの CDB プロセスを引き起こす認証される、リモート攻撃者可能にする可能性があります。

脆弱性は影響を受けたソフトウェアの他 API URL 要求の不完全な入力の検証が原因です。攻撃者は影響を受けたシステムの影響を受けたソフトウェアの他 API へ巧妙に細工された URL を送信することによってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。正常なエクスプロイトは攻撃者により影響を受けたシステムの CDB プロセスは一時 DoS 状態に終って、予想に反して再起動しますことを可能にする可能性があります。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171018-expressway-tp-vcs>

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は Cisco Expressway シリーズ ソフトウェア、Cisco TelePresence Video Communication Server (VCS) ソフトウェアおよび Cisco TelePresence Conductor ソフトウェアに影響を与えます。

該当するソフトウェア リリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

脆弱性を含まないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

詳細

セキュリティ侵害の痕跡

この脆弱性の不正利用により CDB プロセスは再起動します。プロセスが再起動する場合、次のシステム アラームは生成されます:

An unexpected software error was detected in ClusterDB: unknown reason システムがこの脆弱性の不正利用によって妥協されたかどうか判断するために Cisco Technical Assistance Center (TAC) に連絡して下さい。

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

修正済みソフトウェアリリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20171018-expressway-tp-vcs>

改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.1	アドバイザリへの追加された Cisco TelePresence Conductor。	該当製品	Final	2017-October-30
1.0	初回公開リリース		Final	2017年10月18日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。